

赤 建 号

平成20年10月10日

国土交通省道路局長 様

北海道赤井川村長 赤 松



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付国道企第37号にて依頼ありましたこのことについて、
別紙の通り提出しますので、宜しくお願い申し上げます。

(建設課土木係)

○改善すべき事項

・国と地方が実施している道路に関連するすべての面で、経費の節減に向け検討・改善するべきであると考えます。

○要望、提案事項

・道路は、住民生活や経済・社会活動を支える重要な社会基盤であることから、次の通り要望します。

- ① 道路特定財源の一般財源化については、地方が必要とする道路の整備や、維持管理に要する財源を確保していただきたい。
- ② 新たな整備計画の策定に当たっては、立ち遅れている後志地域の高規格幹線道路の整備や安全で安心な冬期交通など、北海道の実情に十分配慮した道路整備が着実に推進できるようにしていただきたい。
- ③ 地方の自主性・裁量性を生かし、地域のさまざまな課題に対応することができる地方道路整備臨時交付金制度の継続とさらなる拡充を図っていただきたい。
- ④ 自治体裁量で行う整備コスト削減に繋がる採択基準の緩和や、支援メニューの拡大を図っていただきたい。

○現状

・国道・道道関係

本村のような中山間地域は、周辺自治体や道都札幌市とは医療・福祉・教育はもとより流通・経済など、多方面における密接な関わりの中で住民の日常生活が営まれており、その要は安定した道路交通網の維持確保です。

特に主要幹線道路(国道393号・道道余市赤井川線)は、急カーブを抱える峠を要しており、冬期間や災害時における陸路の確保は住民の生命にも係わる重要な問題であります。

また、産業基盤である農業や観光業においても、各種振興対策を進めるうえで人や物の流れをスムーズにする道路網の維持確保が重要であり、人口が集中する都市交通整備の必要性とは違った課題として、地方幹線道路の整備課題が存在しています。

・村道関係

村道は、延長が 139,460mで改良舗装率は 59.77%となっており、その多くは農道としての機能を求められるなど、住民生活や産業経済の発展に欠かせないものとなっています。

しかし、昭和40年代後半から長年に渡り、段階的に改良舗装を進めてきたことから、比較的交通量が多い路線においては、車両の大型化や社会情勢の変化により改良の必要性が生じています。

このため高齢化人口の増加に対応したユニバーサルデザインを考慮しつつ、老朽化した道路、歩道、橋梁等の改修整備が急がれていますが、財政的にも大胆な改修計画の推進は難しい状況を抱えています。

○課題

・国道・道道関係

- ① 山間地国道・道道の急カーブ・急勾配など交通安全上支障となる路線の早期解消。
- ② 山間地国道・道道における環境や景観を確保するための道路付属物の充実。
- ③ 都市部へ向かう幹線道路渋滞緩和のための循環道路の充実。
- ④ 山間地国道における携帯通信不能区間における緊急通報システム等の整備。
- ⑤ 山間地国道におけるドクターヘリポートの確保。
- ⑥ 豪雪山間地国道における冬期24時間通行の安全確保。
- ⑦ トンネル内における電波不良(携帯・ラジオ等)の解消。

・村道関係

- ① ユニバーサルデザインの推進。
- ② 狭小道路における冬期間の安全な交通確保。
- ③ 小規模な道路災害における復旧費用の確保。

本村は、札幌市・小樽市・余市町・倶知安町などに隣接した中山間地域であり、野菜やそ菜を中心とする都市近郊の農産物生産機能と併せ、都市圏域からは気軽に休日を楽しむことができる郊外リゾート機能も有しております。

地域住民の日常生活に目を向けると、必要な医療や教育を始め流通・経済など全て国道・道道により維持確保されています。

しかし、周りを山に囲まれているカルデラ地形により何処へ行くにも峠を越えることになり、特に冬期間の交通は急カーブ・急勾配の箇所が数多くあり交通事故も多発しております。

また、本村への観光客からも同様の声が多数聞かれます。

それらの懸案事項を解消するためには、トンネル化等急カーブ・急勾配箇所の改修整備が早期に実施され、往来する全ての人々が安全で安心して通行できるようにと考えております。

さらには、産業面で、札幌圏と後志を結ぶ生命線となる北海道横断自動車道(黒松内～余市)は、本村にとって流通の上で非常に重要であり、物流(農産物)のスムーズ化と観光産業のさらなる発展が見込まれ、地域住民の要望が強い路線で早期に着工されるようお願いがあります。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

北海道赤井川村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	北海道横断自動車道(黒松内～余市)整備事業 高速道路料金の値下げ等	札幌圏から後志への交通がよりスムーズになることにより、流通・経済及び観光面での期待が大きい。 国道393号線が全線開通したことに併せて、高速道路を利用し、札幌圏から後志に向けて観光客等の大幅な増が見込まれる。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	国道・道道のトンネル化整備事業	現在通行している峠をトンネル化や急カーブ・急勾配を改修整備することにより安全で安心な道路交通が図られる。 また、災害発生時には、迂回路としてもスムーズな通行が見込まれる。	・道道余市赤井川線冷水トンネル(赤井川～余市 H20 着工済) ・国道393号のトンネル化(赤井川～小樽市朝里)
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	道道における市街地の歩道等改修整備事業	特に、堆雪スペースの設置により冬期間の車道2車線の確保と高齢者を含む歩行者の安全確保につながる。	・道道余市赤井川線(赤井川市街地)